

平成20年度 一般会計 予算見積 事業別概要書(当初)

款	9.教育費	事業名	5.指導方法改善費						
項	1.教育総務費	細事業名	2.特別支援教育補佐員配置						
目	3.教育研究指導費	担当課・係	指導課	(執行課: 指導課)					

予算分析	臨時経費	継続事業	単独事業								(単位:千円)	
	(歳入)	(歳出)	財源内訳									一般財源
要求額	0	60,913	要 求									60,913
決定額			決 定									

実施計画の内容	(実施計画における事業の概要)	施 策	英知を伝え、心豊かに明日を育むまちづくり/学校で楽しく安心して学べるまちづくり/特別支援教育を実施します。							
	【特別支援教育に関する業務】	施策体系コード	03-02-03-55-10			事業番号	223-1			
	特別支援学級及び通常の学級に在籍する障害を持つ児童・生徒に対する学習及び活動の支援を行うため、特別支援教育補佐員を配置します。	総事業費	298,468千円				事業期間	平成18年度～平成22年度		
		年度別事業費	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度			
			52,788	52,788	60,913	62,944	69,035			
(事業実施に関する根拠法令)										

< 事業に関する説明 >

(事業の説明) 通常の学級に在籍する発達障害等を持つ児童生徒を支援するために補佐員を小中学校に派遣する。	(事業の目的) 通常の学級に在籍する障害を持つ児童生徒に対する教育的支援活動を行うとともに、各小中学校の特別支援教育体制を整備・確立する。	(事業の効果) 特別支援教育補佐員の派遣により、障害を持つ児童生徒の安全な教育活動を確保するとともに、学校の支援体制が確立できる。
(事業実施上の問題点) ・補佐員の数が少なく、十分な支援体制が取れない学校がある。 ・通常の学級への在籍を希望する保護者が増えており、保護者や児童生徒のニーズに応じた対応が求められる。	(前年度からの見直し点) 19年度は、18年度より1名増員し25名体制で行うことができた。 できる限り、各学校1名の補佐員配置体制を整えたい。	(見積についての特記事項)